

# 札内川河川敷 630人ごみ拾い

## クリーンウオークとかち

「第12回クリーンウオークとかちin札内川」(実行委員会主催)が26日午前、帯広市内の札内川河川敷で行われた。小雨がぱらつくあいにくの天候の中、約630人がごみ拾いに汗を流した。



など36団体に加え、河川愛する個人参加も目立った。愛好者や家族連れを中心とす 愛国大橋付近で行われた

小雨がぱらつく中、河川敷に散乱するごみを拾い集める参加者(26日午前9時45分ごろ、金野和彦撮影)

開会式では、國枝恭一実行委員長が「イベントを通じ、河川環境を守ろうという意識が多くの人に広がってほしい」とあいさつ。参加者は準備体操をした後、12班に分かれて川沿いの1・5

〜2・5キロを歩き、ごみを拾った。河川敷には、空き缶や弁当容器などの家庭ごみだけでなく、電化製品や廃タイヤも散乱していた。昨年引き続き、職場の仲間

と参加した市内の団体職員佐藤雅彦さん(23)は「わずか1年でこれほど汚れるとは…。みんながモラルを守れば、きれいになるのに」と話していた。  
(杉原尚勝)